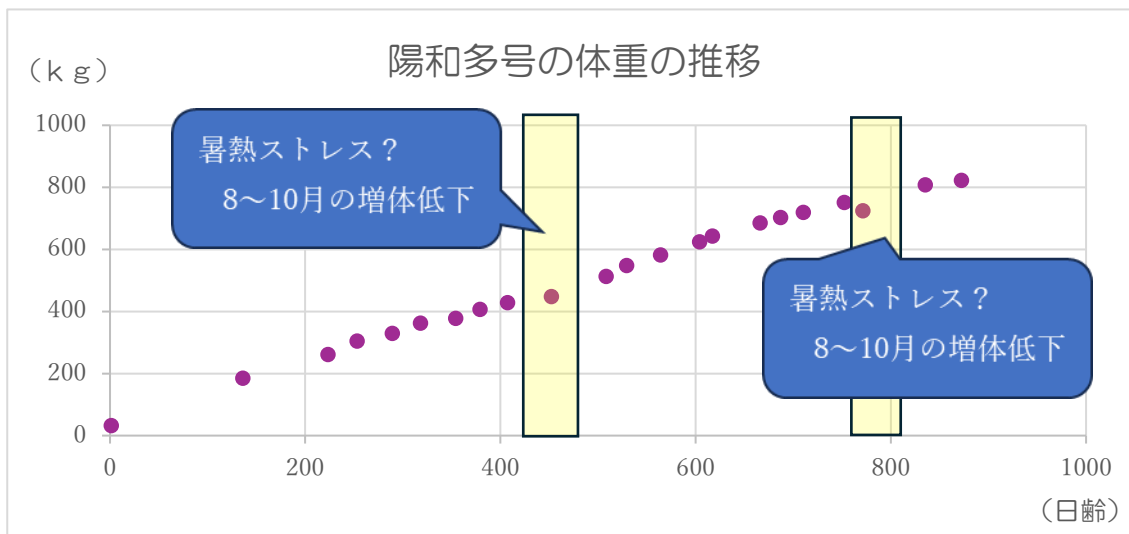


和牛甲子園 暑熱対策岐阜県合同プロジェクトへ

～ 2月7日（水） （株）ソーワテクニカ 送風機贈呈式 ～

1. 取り組みの目的

今年度、和牛甲子園に出品した肥育牛（陽和多号）は夏に体重増加が停滞した。岐阜県は暑さが厳しく、肥育牛の増体の低下に影響したと考えた。そのため、暑熱ストレスを減らし、適切な増体が行えるように飼養管理の研究をする。また、この研究は和牛甲子園に向けて、岐阜県内の肉用牛を飼育する3校（加茂農林高校、飛騨高山高校、本校）の共同研究としても行う。



2. 取り組み及び方法



岐阜県内の肉牛を飼育している農業高校が協力する合同プロジェクトとして行い、岐阜県内の畜産農家にもデータを公開、アニマルウェルフェアの向上を図る。(株)ソーワテクニカ様より(左写真)、送風機を2台贈呈いただき、それを使用し調査を行う。牛房内に温度計などを設置し、送風機によりどのくらい牛房内の気温が変化するか調査する。設置場所は、送風機の効果が一番出る場所を、他の高校と協力して調査を行う。

3. 期待する成果

- (1) 暑熱ストレスを軽減することで効率の良い増体が見られる。
(飼料摂取量が安定、体重の増体が安定することで、ロース芯の形状を良いものにできる)
- (2) 送風機の風によって敷料（おが粉）が乾燥し、敷料の経費削減につながる。
- (3) JA 農業教育支援事業プロジェクト発表大会や和牛甲子園等で発表し、地域の暑熱対策やアニマルウェルフェアの向上を図る。